



豪雨災害対策等調査 特別委員会委員になりました。

9月岡山市議会は、7月5日から7日の豪雨災害の被害状況や避難所などの対応、今後の対策などに議員の質問が集中しました。

「平成30年7月豪雨災害対策調査等特別委員会」が新たに設置されることとなり、委員になりました。これまでお聞きした、被害や災害対応の提案などを、この委員会を通じて、災害対応に生かそうと思います。

「この辺でこんな被害があった」「ここは、こうしたらいいのに」等、お聞かせください。

小学校区ごとに避難計画を作成 (山陽新聞9月20日報道)

【下市このみ質問】豪雨災害を受けて、自分は大丈夫とか、今まで大丈夫だった、安全だったという皆さんの経験＝常識をくつがえす必要があると思います。

被害箇所を、町内会や市民からの聞き取り等により時系列に把握し、被害発生の原因を分析し、その対策を示す。

原因と対策を町内会や市民にフィードバックし、その地域の危険性にそった避難計画を、公民館に配属された地域担当職員と地域の方で作成します。避難所はどこがいいのか、要援護者の避難は可能か、昼と夜で避難の方法は変わるのかなどを、避難訓練を重ねる中で修正しながら実行性を高めていく。これらを実行するように求めました。

【危機管理担当局長答弁】

今回の被害結果を反映した、小学校区単位のハザードマップを作成、地域に出向き、ハザードマップを基に、より避難に結びつくような取り組みを各地域で進めていただく。

地域担当職員の関わり

【市民協働局長答弁】

地域担当職員は、地域活動のサポート・コーディネート、本庁区役所との取り次ぎ等の連絡調整を行っており、どのように関わっていくことができるのか、全庁的な調整が必要と考えている。

主な浸水被害箇所(平成10年以降)の記載 なぜなくなった？

【下市このみ質問】 学区ごとの、洪水・砂防、ゆれやすさ、液状化、地震の4種類の地域避難計画基盤図で、以前は「主な浸水被害箇所(平成10年以降)」という記載欄がありました。なぜ、なくなったのでしょうか。理由をご説明ください。(幡多学区では兼基、財田では乙多見、神下、長岡、旭竜では八幡、高島では中井、雄町等が記載されていました)

【危機管理担当局長答弁】

主な浸水被害箇所につきましては、把握している浸水被害箇所を町丁目単位で掲載しておりましたが、降雨の状況等により浸水被害も様々な場所で発生している状況で、不確定な情報提供により掲載した地域外の住民に安心感を与え、避難の遅れにつながることも想定されるため、掲載を取りやめたものです。

【一言】これから、被害結果を反映した小学校単位のハザードマップを作る、と答弁したね。どんなマップを作るつもりでしょうか？

下市このみ事務所からのお知らせ

- ▼9/28(金) 映画上映会 14:00～ 下市事務所
- ▼10/3(水) 質問検討会 19:00～ 下市事務所
- ▼10/19(金) 市民ネット市政報告会 18:30～
吉備公民館(岡山市北区庭瀬416 086-293-2170)
- ▼10/23(火) 映画上映会 10:00～ 下市事務所
- ▼11/4(日) 第39回ひまわりマーケット 10:00～
高屋公園(雨天中止) 出店者募集!